

## 関係 6 機関が連携

### 戸塚駅での爆発テロを想定したテロ災害対応訓練を実施します

東京 2020 オリンピック・パラリンピック等の開催を見据え、災害対応能力の向上及び関係機関の連携を強化するため、戸塚駅で爆発テロを想定した関係機関合同テロ災害対応訓練を実施します。

- 1 実施日時  
令和元年 11 月 21 日（木）午前 10 時から 11 時まで
- 2 実施場所（案内図参照）  
戸塚駅西口ペDESTリアンデッキ広場
- 3 訓練参加機関
  - （1）戸塚警察署
  - （2）戸塚区役所
  - （3）東日本旅客鉄道株式会社（JR 戸塚駅）
  - （4）戸塚西口共同ビル管理センター（トツカーナ）
  - （5）独立行政法人国立病院機構横浜医療センター（国立横浜医療センターYMAT※チーム）
  - （6）戸塚消防署



訓練イメージ

※YMAT：横浜救急医療チーム（Yokohama Medical Ambulance Team）

消防との連携により迅速に出動し、救命のための的確な医療活動を実施する医師、看護師によるチーム。横浜市内で発生した崖崩れなどの自然災害、列車脱線事故、高速道路交通事故などで、複数の重症者や多数の負傷者が発生し、又は発生が予想される災害現場で活動する。現在、市内 9 病院で編成されている。

#### 〈訓練想定及び内容〉

戸塚駅西口ペDESTリアンデッキにおいて爆発が起こり、瓦礫に挟まれるなどした負傷者が発生、警察官が暴れる容疑者を確保し、消防隊が周囲の安全確認後に救助活動を実施します。

#### 〈訓練の見どころ〉

- 1 関係機関による避難誘導
- 2 警察機関による犯人制圧、確保
- 3 救助隊、消防隊、救急隊、特殊災害対応隊、YMAT 連携による救助活動

#### 4 案内図



#### 5 取材について

取材を希望される場合は、事前に下記問合せ先へ御連絡の上、当日は直接訓練会場へお越しください。

※災害の発生や天候等により訓練を中止又は一部縮小する際は、取材申込みをいただいた方へ御連絡いたします。

#### お問合せ先

消防局戸塚消防署副署長 三善 幸夫 Tel 045-881-0119